



登米市



登米市は、人と環境に優しい環境保全型農業への先駆けた取組による環境保全米の発祥の地であり、それまでの増産重視の生産体制を地球環境や生物多様性に配慮した米づくりへ転換し、生産者や関係機関の皆様とともに、持続可能な農業の実現を目指して取り組んできました。

本市は、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、地域が一体となって、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

「みどりの食料システム戦略」で掲げる「有機農業の拡大」、「農林水産業のCO2ゼロエミッション」の目標達成に向けて、本市農業の強みである環境保全型農業を更にステップアップさせ、生産力の向上と持続性が両立した登米市農業の発展を目指します。

有機農業の取組面積が県内トップの本市が、宮城県の先頭に立って、地域ぐるみで環境に配慮した農業を推進することを決意し、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和6年12月25日

登米市長 熊谷盛廣